

大牟田市石炭産業科学館 夏の鉄道展 炭鉱電車と九州の鉄道

0キロポストへの回帰

& 南阿蘇鉄道の復活と九州の鉄道

令和 6年 7・20(土)→8・25(日)

[月曜休館 (祝日の場合は翌平日)] ※ただし8月12日(月振)は開館
(会期中の休日は7月22日(月)、29日(月)、8月5日(月)、19日(月))

会場 大牟田市石炭産業科学館 1F 企画展示室

観覧料 無料

開館時間 午前9時30分～午後5時

協力 NPO法人 炭鉱電車保存会、有明工業高等専門学校、大牟田レイルクラブ

紅
き
英
雄

帰
還
!



「2016年最後の朝日を浴びる19号」2016.12.31 撮影：高巢裕太

問合せ

大牟田市石炭産業科学館
〒836-0037 福岡県大牟田市岬町6-23
TEL: 0944-53-2377 FAX: 0944-53-2340
URL: <http://www.sekitan-omuta.jp/>

0キロポストへの回帰 & 南阿蘇鉄道の復活と九州の鉄道

2020年5月7日に運行停止となった炭鉱電車ですが、荒尾市による万田坑での保存に引き続き、地元企業の白石自動車によって新たに2両が保存されました。北磯町に完成した保存施設「炭鉱電車ステーションゼロ」には、11号と19号電車の2両が静態保存され、今年4月の施設完成後は毎月第3土日に一般公開されています。

今回の展示では、かつて北磯町にあった三池浜駅が三池鉄道の起点であったことから、テーマを『0キロポストへの回帰～11号&19号電車の軌跡～』とし、2両の炭鉱電車の現役時代を、炭鉱閉山前から運行停止前後までの写真で振り返ります。

また『南阿蘇鉄道の復活と九州の鉄道』として、2016年4月に発生した熊本地震から、2023年7月に全線復旧した南阿蘇鉄道をメインに展示します。そして、今年3月で運行停止となった「SL人吉」を惜しんで、これまでのSL運行の軌跡を写真でたどります。



「三池浜へ向けて出発前の大蛇シティ未来号1990.8. 撮影：濱崎徹也



「ONE PIECEとコラボした南阿蘇鉄道サニー号トレイン」撮影：川地伸一

主な展示物

- ・11号電車と19号電車の現役時代の写真
- ・炭鉱電車の部品や旭町線の旧踏切表示板など
- ・絵葉書に見る炭都・三池の鉄道～勝立坑編～
- ・高森線、南阿蘇鉄道の写真や資料
- ・「SL人吉」の写真



旭町線の旧踏切表示板

Event

関連イベント

- 1 「0キロポストへの回帰」展示解説**
7月20日(土)
午後1時～午後2時
企画展示室
「NPO法人 炭鉱電車保存会」会長 藤原義弘さんによる展示解説です。
- 2 ミニ炭鉱電車がやってくる!**
7月27日(土)
午前11時～午後2時30分
円形ホール
乗車もできるミニ炭鉱電車が走ります。
- 3 鉄道模型運転体験 & 走行展示**
7月27日(土)、28日(日)
8月10日(土)、11日(日)、17日(日)、18日(日)
企画展示室
運転体験：午前11時～、午後2時～(小学生以上、各回先着20名)
※整理券を当日開始30分前から配布
走行展示：午前10時～午後4時
※途中1時間休憩あり。
- 4 鉄道のおもちゃで遊ぼう!**
7月20日(土)～8月25日(日)
午前9時30分～午後5時
常設展示室
鉄道のおもちゃで遊べるスペースを用意しています♪
※常設展示室への入場には、観覧券(有料)が必要です。

参加無料

参加無料

参加無料

観覧券が必要

大牟田市 石炭産業科学館

〒836-0037
大牟田市岬町6-23
TEL:0944-53-2377
FAX:0944-53-2340
<http://www.sekitan-omuta.jp/>

- 新大牟田駅より タクシー 約20分
- 大牟田駅西口より
徒歩 20分
タクシー 8分
バス イオンモール行 終点下車 徒歩8分
レンタル自転車 10分
※レンタル自転車は駅東口前の観光プラザおよび、駅西口西鉄大牟田駅で取り扱っています
- 九州自動車道 南関ICより 自動車で約25分
- 長洲港より 自動車で約30分
- 無料駐車場あり(30台)

